

 第 8 号 tel 74-2157 mail aikawa-js@sado.ed.jp	佐渡市立相川中学校 生徒数 1 年 21 名 2 年 24 名 3 年 30 名 計 75 名 令和 7 年 11 月 28 日 発行 <div> <div>教育目標</div> <div> ともに支え ともに生きる ～仲間とともに地域とともに～ </div> </div>
---	---

A I < 合 い

佐渡市立相川中学校長

近年、急速に進化を遂げている生成 A I はかつてないスピードで社会に普及しており、その利便性とリスクの存在から社会に様々な影響を及ぼしています。生成 A I は、教育分野においても様々な利活用が考えられる一方、利用場面や思考力の低下などの不安点も浮かび上がっており、学校における利活用については課題となっています。



義務教育学校における I C T 教育の本格的なスタートは、2019 年（令和元年）に提唱された「G I G A スクール構想」です。当初は 5 年間をかけて学校の I C T 環境を整備していく予定でした。しかし、2020 年の新型コロナウイルス感染拡大防止による全国一斉臨時休業等の影響により、子どもたちの学習機会の確保に向けて、計画を前倒して一人一台端末によるタブレット配付が行われました。そのため準備期間が短く、適切なルールが定まらない中での運用開始となってしまった学校も多く見られました。それから約 5 年、来年佐渡市においては現タブレットよりも利便性が高い i P a d が配付されます。i P a d の配付により、子どもたちの活用場面は更に広がることが予測されますが、今の使用状況からは長時間のスクリーン画面の視聴による視力低下や依存症、不正アクセスやゲーム利用等様々なことが懸念されます。

これからの時代を生きていく子どもたちにとって、タブレットを含む P C 端末は教科書、鉛筆、ノートと同じ学習におけるマストアイテム（必需品）です。I C T 等のタブレットを活用した情報活用能力の育成は必須であり、これからの予測不可能な社会の中での持続可能な社会の創り手として欠くことのできない資質・能力であることは間違いありません。また、I C T の環境整備や活用能力の育成は離島に住む私たちには、とても重要なよりよく生きるための大切な力となってきます。

今後、子どもたちが、より安全に活用していくための準備が重要となってきます。活用のルールは、生徒会を中心に教職員との対話を通して作成を進めていきます。また、有害情報へのアクセスや使用時間といった課題について、学校と家庭が共通理解をもち、連携していくことが不可欠となります。まず、保護者も参加できる研修会や講演会を開催し、タブレット使用に関する不安や疑問に答える機会を設定するなど P T A 活動等の工夫も必要となってきます。現タブレットは学校で管理していますが、今後、準備が進みましたら自己管理・保管を原則とし、日常的な持ち帰りを進めていきます。

最後になりますが、I C T や A I が更に発達し、考えなくても A I が何でも教えてくれる訳ではありません。A I の真偽を確かめること、A I を活用しながらも個性を出すこと、自分らしさを追究していくことなど自分の意志で学ぶことは大切です。学校での教育活動はタブレットで学習を行うが、タブレットが学習を進めるのでありません。タブレットは単なるツール（道具）であり、学ぶのは子どもたち本人です。子どもたちと教職員のかかわりの中で人を育てていくことが学校教育の原点です。I C T 教育がどれだけ発達しようとも、人と人が関わり合って成長させていく教育活動を大切にしていくことに変わることはありません。

「A I < 合 い」子どもたちを成長させるのは A I ではなく、人と人とのかかわり合いです。「合いのある相川中学校」へのご理解ご協力をよろしくお願いします。

佐渡市音楽発表会(3年生)

11月5日(水)、佐渡市音楽発表会が開催されました。佐渡市内の中学生がアミューズメント佐渡に集まり、各校が合唱や演奏を披露しました。相川中学校からは、先日の合唱コンクールで最優秀賞に輝いた3-Aが参加しました。大勢の聴衆の前で、堂々と『僕らはいきものだから』を歌い上げ、聴衆を魅了していました。

後日、様々な学校の職員から「相川中学校の合唱、すばらしかった」という声が相川中学校に寄せられました。相川中学校職員一同、誇らしい気持ちになりました。



新潟県駅伝大会及び激励会

11月4日(火)の放課後、新潟県駅伝競走大会に向けた激励会を盛大に行いました。

大会は11月7日(金)に新発田五十公野公園競技場で行われ、男子チームは7位入賞、女子チームが45位と、ともに健闘しました。

<特設駅伝部>

男子 7位入賞 女子 45位



各種大会結果、表彰関係

10月、11月に各部の大会結果や、各種表彰された皆さんを紹介します。

<佐渡市児童生徒科学研究発表会>

奨励賞 1年生男子 「令和7年度夏休み自由研究「私だけの素敵な音色 ～^{こいねが}希う佐渡の響～」」

奨励賞 1年生男子 「佐渡に生息するモリアオガエルの観察
～上陸のタイミングを選択するカエルの生存戦略～」

<英語検定>

1年生女子 5級 2年生男子 4級

<バスケットボール男子> 新穂中との合同チーム

B S N杯 佐渡市リーグ戦

対 南佐渡中 惜敗 対 佐和田中 惜敗

対 両津中 惜敗 リーグ4位で11/30(日)の下越地区本大会へ

<バレーボール> 11月2日 ヒルトップアリーナ

佐渡市1, 2年生大会

1回戦 佐渡中等 2-0 勝利 2回戦 ALL LYNX 0-2 惜敗

3回戦 両津中 0-2 惜敗 下越大会出場ならず

生徒朝会(保健委員会)

11月10日(月)、生徒朝会の担当は、保健委員会です。1学期に実施した「歯と口の健康週間」、「メディアコントロールウィーク」の結果を紹介し、2学期の取組に向けた意識の啓発を図りました。

後半は、健康に関するクイズを取り入れ、随所に工夫を凝らした発表が行われました。全校生徒は、楽しみながら「自分の健康」について考える機会となりました。



新潟県 中教研授業公開

11月14日（金）、新潟県中学校教育研究会が開催されました。相川中学校が2年間の指定を受け、佐渡島内の英語科で研修を進めてきました。当日は、3-Aが授業を公開し、40名を超える教職員が参観しました。佐渡島内はもとより、新発田市、新潟市、遠くは長岡市からも教職員が集まり、研究授業が行われました。当日は、「佐渡をPRするCMを作成する」という課題で、生徒同士、生徒と教師がともに学び合いながら、授業を進めていました。

生徒は大勢の参観者にも動じず、積極的に対話を重ね、学びを深めていました。授業後の協議会では、多くの参会者から生徒の学びに向かう姿を評価していただきました。



避難訓練(地震想定)

11月17日（月）、第2回避難訓練を行いました。

1学期の想定は火災でしたが、今回は地震を想定した訓練を実施しました。より実践的な訓練を行うため、生徒には「今日、避難訓練を実施します」という予告のみで、いつ緊急地震速報が鳴るかわからない状態で実施しました。

5限の時間帯に（訓練用の）緊急地震速報が鳴り、その場で身を守る姿勢をとった後、体育館まで静かに素早く避難しました（本来はグラウンドに避難予定でしたが、荒天のために体育館としました）。

避難完了後、体育館で能登半島沖地震の映像を視聴し、地震とともに津波の脅威を学びました。災害は、いつ起こるかわかりません。特に相川中学校区は、海沿いに学区が広がっています。地震が起こったとき、津波を想定して適切に判断したり、より安全な行動について学んだりしました。



生徒会レクリエーション

11月21日（金）の5、6限、生徒会レクリエーションが行われました。この企画は、体育祭や文化祭などの大きな行事を通して築いた絆を再確認したり、さらに深めたりすること、学級の仲間と協力して取り組むことで集団としての団結を育むことを目的として、生徒が主体となって実施しています。競技は全員参加のバレーボールと、希望参加のバスケットボールの2種目で行われました。

生徒は学級の仲間とともに楽しみながら一生懸命にプレーし、ギャラリーから観戦する生徒も、選手に精一杯の声援を届けていました。当日は、気温も上がり、期末テストでたまったストレスを大いに発散する機会となりました。

テスト勉強で忙しい中、着々と準備を進めてくれた生徒会本部の皆さん、ありがとうございました。



相中生のキラリ！

☆ 県大会に参加した特設駅伝競走部について

新発田に前日入りし、旅館に宿泊しました。宿泊施設ではルールを守り、周りのことを考えた行動をすることができていました。また、バス乗車の際や会場での挨拶がすばらしかったです。

他校の教職員より

☆ 11/14 の授業での姿について

難しい課題に対して、仲間とともに積極的に意見交換をしながら、学び合う姿勢がすばらしかったです。普段使用していない教室、知らない大人が多く参観する環境で緊張したことと思いますが、堂々と対話をしている3年生に、大いに感心しました。

参観した他校の職員より

☆ 11/14 の校舎内での生徒の姿について

授業会場へ移動するとき、校長室に戻るとき、そしてお手洗いに向かうときと多くの生徒とすれ違いましたが、そこでの生徒の挨拶に感動しました。生徒は、みんな自分から目を見て挨拶をしてくれました。中には、教室の中から私たちを見つけ、廊下にまで出てきて挨拶してくれた生徒もいました。相手意識があり、来校者を歓迎する姿勢が育っていて、すばらしいと思います。

佐渡市教育委員会指導主事より

今後も、相中生の輝く姿を紹介していきます



12月の主な予定

1日（月）	生徒朝会（給食）、職員会議	15日（月）	職員研修
2日（火）	立会演説会リハーサル	16日（火）	専門委員会
3日（水）	立会演説会、生徒会選挙	18日（木）	代議員会
6日（土）	数学検定	19日（金）	総合学習発表会 （5，6限）
8日（月）	生徒朝会（認証式） 特別時程（14:45 バス）	24日（水）	終業式 （10:45 バス）
10日（水）	保護者面談（14:35 バス）	27日（土）	～閉庁日 （1月5日）
11日（木）	保護者面談（14:35 バス）		
12日（金）	保護者面談（14:35 バス）		



10月号のお詫びと訂正

先月号の2年生職場体験の記載で、受け入れていただいた企業の記載に誤りがありました。
お詫びして訂正（下線部）させていただきます。

㊤ アルクロワークス(株) 様



保護者の皆さんへ

<御礼とお願い>

先日のオープンスクールにお越しいただいた皆様、たいへんありがとうございました。12月10日（水）～12月12日（金）には、保護者会があります。寒い時期ではありますが、お待ちしております。

なお、該当の保護者の皆様にはお知らせを配布しましたが、7月までの大会にかかる返金があります。保護者会当日、印鑑をお持ちください。その他の大会については、準備でき次第、改めて連絡させていただきます。

ありがとうございます



<学校評価のお願い>

来週12月1日（月）に、「2学期の学校評価アンケートのお願い」を配布いたします。内容をご確認いただき、12月8日（月）までに回答いただけますようお願いいたします。お忙しい中ですが、よろしくお願いいたします。



<強風時の校舎出入りについてのお願い>

昨年度の寒波による強風で、当校校舎の海側階段上部にある、屋根の一部（側面）が破損しています。今後、強風の影響で破損部分から新たな破片が飛ぶ可能性がないとは言い切れません。佐渡市教育委員会とともに、現在修繕に向けた準備を進めているところです。しかしながら、足場を組んだ大々的な工事が必要であることから、すぐに作業に入り、修繕することが難しい状況にあります。

そこで、生徒の安全面を最優先に考え、以下の対応をさせていただきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

1 生徒の登下校方法

- 登下校の時間帯で風速 10m 以上(※1)の場合、生徒は社体玄関から出入りする。

※1 破損部分を現地で確認した施工業者から示された数値です

<登校時>

- ① 社体玄関でスリッパ(※2)を履き、外履きを持って生徒玄関に移動。
- ② 生徒玄関の下駄箱に外履きを入れて、内履きを履く。スリッパ(※2)は所定のかご（生徒玄関に設置）に入れる。

※2 スリッパは、学校で用意します。保護者の皆さんもご利用ください。

<下校時>

- ① 生徒玄関に内履きを戻してスリッパを履き、外履きをもって社体玄関に移動。
- ② 履いてきたスリッパを社体玄関の所定のかごに戻し、外履きを履いて下校。

2 保護者の皆様の来校方法

- ・ 来校の際は、生徒と同様の対応をしていただきます。

3 判断基準

- ・ 毎日、複数の予報を確認し、出入口を決定しています。
- ・ 風速計を購入し、登校時、下校時の風速を実測しています。

生徒の安全のため、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

当校に保護者の皆様だけでなく、地域の方々におかれましても、

当校へ来校される際は、よろしくお願いいたします。